接続助詞「けど」の音調と意味用法に関する研究
−挿入用法についての検討−

田頭 未希（東海大学 教養教育センター）†

Intonation and Discourse Function of *Kedo*
- A Case of Insertion -

Miki Tagashira (Foreign Language Center, Tokai University)

１．はじめに

田頭(2013)では接続助詞「けど」類の用法を 6 つに分類し、音調と用法の関連について、ある音調がある特定の用法と結びつきやすいという関係ではなく、話し言葉の中でゆるやかに対応していることを述べた。また用法に関しては、「けど」類節がなくても文全体の意味には影響を与えない付け足し的な説明や挿入が話し言葉では多用されている点を指摘した。

本稿の目的は、田頭(2013)の 6 つの用法のうち「挿入」用法に注目し、音調との関連性を多角的に考察することである。「挿入」用法は、『日本語話し言葉オーパス』において接続助詞「けど」類の中で使用頻度が最も高く、約半数がこの用法であった。さらに、「挿入」用法は「逆接」や「談話主題の導入」などの他の用法とは異なり、「挿入」用法でありながら、話し言葉の動的な展開の中で逆接的あるいは言いさし的といった他の意味用法を併せ持つことができ、これらの点からも考察を行う。

２．分析データ

２.１　音声資料

『日本語話し言葉コーパス』（以下 CSJ）（Maekawa 2003[1]）のコアデータのうち、韻律情報が付与されている約 18 時間分（模擬講演 107 ファイル）を分析資料とした。

分析資料全体では、接続助詞「けど」類は 1937 例で、田頭（2013）ではランダムに抽出した約半数 1019 例を分析した。本稿では、4.2 節で説明する挿入用法のみに注目しているため、田頭（2013）で扱った挿入用法の 510 例からランダムに抽出した 163 例が最終的な分析データとなる。

２.２　韻律句末の音調

本稿で使用する「韻律句」とは、イントネーションの物理的変化量として基本周波数を考え、時間軸に沿って示される音調の変化のうち、冒頭の上昇から始まり発話末にかけて下がっていく基本周波数で示されるひとつの山のまとまりを指す(Pierrehumbert and Beckman 1988)。韻律句にはIntonation Phrase[2]（以下IP）とAccentual Phrase（以下AP）の2つがある。音調の連鎖という意味では、東京方言では、ひとつのアクセント句は、「相対的に低いピッチ（%L）で始まった後すぐに上昇し（H-)、アクセント核[3]があればそこで下

---

† t-miki@tokai-u.jp

1 CSJ の概要について説明している論文のひとつである。

2 Pierrehumbert and Beckman（1988）ではアクセント句より階層的に上位の単位として中間句（Intermediate Phrase）と発話（Utterance）を置くが、J_ToBI ではそれらを融合した単位としてイントネーション句（Intonation Phrase）を定めている。

3 語彙的に指定されたアクセントを意味する。なお、この注釈は筆者が加筆したもので、五十嵐他(2008)は本文カギ括弧の表現である。%L、H-、H*+L などは CSJ で採用されている

降し（H*+L)、最後もまた低く終わる（L%)」という基本周波数の一連の変化からなる（五十嵐他 2008)。

CSJ では X-J_ToBI と呼ばれる韻律ラベリングシステムを採用し、韻律句末の音調の型として 5 つの型を定義している。下降調（L%)、上昇調（H%)、上昇下降調（HL%)、低ピッチ区間を伴う上昇調（LH%)、上昇下降上昇調[4]（HLH%）である。

３．接続助詞「けど」類

３.１　音調の型

『明解日本語アクセント辞典』(1997）によると、接続助詞「けど」類について語彙的に与えられている音調は「け」から「ど」にかけてアクセントを持つが、基本的には「けど」類単独で使用されることは少なく、動詞や形容詞、名詞に後続して用いられるため、次のように説明できる[5]。形容詞の場合も以下の説明の動詞の場合と同様に、起伏式形容詞の場合には形容詞の型を変えないで低く下がってつき、平板式形容詞の場合には最後の拍を変え、低く下がってつく[6]。ここでは便宜上、前接要素と比べ、低く下がる音のみを下線付きで表記する。

平板式動詞につく場合：助詞の第一拍から、低く下がってつく
例）なく<u>けど</u>　　（泣くけど）

起伏式動詞につく場合：動詞の型を変えないで、低く下がってつく
例）よ<u>むけど</u>　　（読むけど）

上記の例に示した通り、「けど」類が動詞や形容詞などに後続する場合、語彙情報として持っている音調は、前接要素の品詞やアクセント型に関わらず、前接要素に続いて低く下がってつく下降調である。

３.２　用法

「けど」類に関して、先行研究[7]では分類される用法[8]の数や用法の名称は必ずしも一致していないが、おおよそ以下のような分類があげられる（森田 1980, 渡辺 2000、永田・大浜 2001 他)。（１）談話主題の導入、（２）逆接･対比、（３）並列･累加、（４）前置き、（５）言いきりの回避･言いさし、そして本稿で扱う（６）挿入である[9]。「挿入」は「前置き」と類似しているが、「前置き」は後件の補足、あるいは後件の解釈を阻害する要因を排除するために置かれているのに対し、「挿入」は補足説明を付け加えることを意味し、「けど」節がなくても前後の文意が通ることが条件である。以下に、例をあげる。(a）は先行研究か

韻律ラベリング X-JToBI で使われる記号である。

[4] 本稿での分析データでは､上昇下降上昇調は全接続助詞 9,518 例のうちわずか 2 例であり、いずれも「て」の例であったため、今回の分析には含まれていない。

[5] 「新明解日本語アクセント辞典」（秋永 2002）の付録(72)～(74)の表より。まとめは筆者による。韻律句末の音調は、語彙情報として指定された以外の一般的音調以外に特に助詞などの類はイントネーションによって変化しやすいので注意が必要である点が明記されている（秋永 2002)。

[6] 平板式形容詞の場合は、形容詞の最後の拍を低く変え、低く下がってつく。

[7] 「けれども」の用法を４つに分類するもの（三枝 2007)、６つに分類するもの（森田 1980, 永田・大浜 2001）などがある。田頭（2013）では、主に森田や永田ら、渡辺（2000）の研究を基に、６つの用法に分類した。

[8] 定義は、森田（1980）のものを筆者により短くまとめている。

[9] それぞれの用法の具体例は田頭（2013）を参照されたい。

らの引用、(b) はCSJから取り出した例（鍵括弧にデータのTalk ID）を示す[10]。

(a) この前貸した本を明日　もし無理だったら明後日でもいいんだ**けど**
返してくれる？（永田・大浜 2001）

(b1) そんな　ことも　ありましたし　娘と　二人で　毎日　あの　猫の　こと
書いて　あのー　夏目漱石じゃない**けど**　あのー　猫の小説でも書けると
いいねなんて　[S01F1522]

(b2) あのー　主人が　ゴルフが　好きで　ま　ゴルフ場に　勤めてるんですけ
れ**ども**　ゴルフが　好きっていう　ことも　ありまして　それも　あって
[S00F0014]

(b3) 東京ガスの　んーと　駐車場が　凄く　広く　あるんです**けど**　そこで
それは　住んでから　本当に　気づいたんです**けど**　で　駐車場なので
何も　ないから　凄く　いいなという　風に　思ってた　私　二階なんで
す**けれども**　そしたら　もう　毎日　雨の　日　以外は　朝八時に　そこ
で　みんな　ラジオ体操するんですね　[S00F0177]

４．結果

表１に形態に関する内訳を示す。どの分析対象データに関しても、「けれども」「けど」「けども」の順での使用頻度が高い。その他には、「け」「げ」「けお」「けよ」「けれとも」「けろ」などが含まれる。「挿入用法」510 例についてみると、「けれども」「けども」などの副助詞が付いた形態は 338 例で、「けど」「けれど」など副助詞が付かない形態はその約半数の 172 例であった。

表２は句末音調の割合の分布を示している。上昇下降調（HL）が最も頻度が高く、ついで上昇調（H）となっている。形態やアクセントの位置と句末までの距離は、韻律句末の音調変化に影響を与え得る要素と考えられる。形態と音調の関係を表３に、モーラ数[11]と音調の

表１　形態別の度数

	けれども	けーども	けども	けれど	けーど	けど	その他	合計
分析資料全体	708	148	370	44	6	644	15	1935
田頭(2013)の分析データ	414	88	179	13	5	313	7	1019
田頭(2013)の「挿入用法」	188	50	99	7	0	163	3	510
本稿での分析データ	71	8	17	5	0	62	0	163

10 当該要素を太字表記している。また、句読点位置と推定される箇所でのスペースはCSJの転記にて分かち書きされた箇所を示す。

11 CSJの転記が長音表記になっているものは長音も１モーラと数えた。したがって、「けーども」は４モーラ、「けーど」は３モーラに分類する。

表２　句末音調別の度数

	L	HL	H	LHL	合計
分析資料全体	417（21.5%）	881（45.5%）	630（32.5%）	7（0.04%）	1935
田頭(2013)の分析データ	202（21%）	451（46%）	317（33%）	4（0%）	974[12]
田頭(2013)の「挿入用法」	118（23%）	226（45%）	164（32%）	0（0%）	508
本稿での分析データ	32（20%）	69（42%）	62（38%）	0（0%）	163

表３　形態毎の音調の度数

	けれども	けーども	けども	けれど	けど	合計
L	17	0	0	1	14	32
HL	22	4	12	2	29	69
H	32	4	5	2	19	62

表４　モーラ数毎の音調の度数

	２モーラ	３モーラ	４モーラ	合計
L	14	1	17	32
HL	29	14	26	69
H	19	7	36	62

表５　モーラ数毎の音調の度数

	度数
並列･累加	11（1%）
談話主題の導入	71（7%）
挿入	510（52%）
前置き	78（8%）
言い切りの回避	28　（3%）
逆接･対比	276（28%）
合計	974

（田頭 2013 より）

表６　接続関係と音調

	度数
前接に関連あり	31
後続に関連あり	110
前後両方に関連あり	14
合計	155[13]

関係を表４に示す。モーラ毎の音調の表出率をカイ２乗検定を用いて検定した結果、有意差が認められた（$p<0.05$）[14]。

表５に示すように、「けど」類を６つの用法に分類すると約半数が「挿入」用法であった

[12] 1019 例のうち、用法の分類に迷った 45 例が除外されている。

[13] 判定に迷った 13 例が除外されている。

[14] 形態毎の音調の表出率についてもカイ２乗検定を用いて検定した結果、一応、有意差が認められた（$p<0.05$）が、分割表におけるセルのうち 20%の期待度数が５未満であった。

（田頭 2013)。「挿入」は補足説明を付け加える用法で、「けど」節がなくても前後の文意が通ると定義されるものである。補足説明を加えるという点で、前後のいずれか、あるいは前後両方の発話と、内容の観点から関連性を持つといえる。そこで、挿入された「けど」節でマークされた発話が前後どの発話とより関連性が深いかを調べた。当該の「けど」節から長単位で前後 10 個までを範囲とし、前接、後続、その両方に関連しているのかを筆者が判定した。表 6 に結果を示す。後続する発話内容の前置き的に挿入されている例が非常に多くみられた。

５．考察

形態に関しては、「けれども」「けれど」「けども」「けど」の順で丁寧さが薄れていくと言われている。さらに、「けども」「けど」はくだけた話し方とされている。音調の面からは、極端ではない上昇調や上昇下降調を用いると丁寧な感じや優しい感じを与えると考えられている。対象とした発話は、模擬講演データで、決められたテーマに沿って誰かに自分の体験を話すという設定で発話されたもので、友達同士のくだけた会話というよりはもう少し丁寧な発話がなされたと考えられ、そのような場では、発話全体からみると「けど」節がなくても文意は通じる「挿入」のような用法においても、こられの音調が使われる頻度が高いといえる。

「挿入」としての「けど」節と前後の発話との関連性については、後続する発話により関連性が強いと判断されるものが多かった。先にも述べた通り「挿入」用法は他の用法と異なり、「挿入」でありながら、発話の動的な展開の中で補足的、前置き的、あるいは言いさし的、逆接的といった他の意味用法を併せ持つ場合がある。例えば、「挿入」の「けど」節が後続する発話とより関連が深かったということは、後続する内容の前置き的に挿入したり、またはあえて逆接的な内容を挿入したりしながら発話を行っているという解釈ができる。

① 補足的挿入用法

例えば　あの　セブンイレブンとか　の　お赤飯　ありますよね　の　お赤飯の　赤い　色は　虫から　取ってるんですよ　で　て　色は　そのー　コチニール貝殻虫って　言うんです**けど**　その　貝殻虫は　赤い　色を　強く　出す　虫で　毛糸屋さんとか　後　藍染めの　人とか　[S00F0082]

② 前置き的挿入用法

パチンコ　パチスロについて　えー　全くの　あの　素人の　立場として　お話します　え　えー　ま　やり始めと　言うか　きっかけというのは　あのー　ま　子供の　時から　あのー　兄とかが　いて　よく　パチンコ屋の　話とか　聞かされて　興味を　持ってたんです**けど**　中学の　時に　あのー　中学　入って　ん　すぐ　仲良く　なった　友達の　うちが　うちの　周りが　あのー　ん　パチンコ屋さんで　あの　[S00M0071]

③ 逆接的挿入用法

あのー　キラウエア火山　っていうのは　何か　その　ま　私は　あの　ん　三原山ですか　大島とか　あちらの　方は　ちょっと　行った　ことが　ないので　あのー　分からないんですけれ**ども**　日本の　その　火山の　印象っていうのとは　だいぶ　違いまして　ま　富士山は　昔　登った　こと　ありますし　浅間山も　あの　鬼押出しとかは　行った　こと　あるんですけれども　何か　本当に　そういう　印象　と　違いまして　あーのー　本当に　何か　できたばかりっていう　感じが　とても　強かったんですね　[S00F0014]

また、前接の発話内容との関連が深い「けど」節は言いさし的な印象を与えたり、前後同

じいい方を繰り返しているその間に挟まれた「けど」節は言いかえ的な挿入や並列･累加的な挿入として使われているといえる。

６．まとめ

『日本語話し言葉コーパス』を分析資料とし、接続助詞「けど」類の「挿入」用法に注目し、音調との関連性や、発話内容の観点から話し言葉の動的な展開の中で「挿入」が前後いずれの発話内容と関連が深いのかについて考察した。「挿入」用法は「けど」節がなくても前後の文意が通る補足的な発話だが、模擬講演のような場ではそのような「挿入」でも上昇調や上昇下降調を使い、音声的にも丁寧さを示していると考えられる。また「挿入」用法の下位分類的な意味用法は、前後の発話内容との結びつきによってその位置が決まる可能性が指摘できる。しかしながら、音声と用法においては、田頭（2013）、田頭（谷口）（2012）などでの考察と同様、接続助詞「けど」類や「が」においては、音調と用法が一対一の強い対応をしているわけではなく、ゆるやかな結びつきであることが本データから示された。

謝　辞

本研究は、学校法人東海大学総合研究機構「研究奨励補助計画」の助成を受けて行ったものである。

参考文献

秋永一枝（2002）「アクセント習得法則」『新明解日本語アクセント辞典』第二版、金田一春彦（監修）秋永一枝（編）、pp.1-99、三省堂

五十嵐陽介・菊池英明・前川喜久雄（2008）「韻律情報」『報告書 日本語話し言葉コーパス構築法』、(http://www.ninjal.ac.jp/products-k/katsudo/seika/corpus/csj_report/よりダウンロード可能)

三枝令子（2007）「話し言葉における「が」「けど」類の用法」『一橋大学留学生センター紀要』10、pp.11-27

田頭未希（2013）「接続助詞「けど」の音調と意味用法に関する予備的考察」第三回コーパス日本語学ワークショップ予稿集、pp.299-306.
(http://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/files/JCLWorkshop_no3_papers/JCLWorkshop_No3_web.pdf　よりダウンロード可能)

田頭(谷口)未希（2012a）「接続助詞「が」の音調と意味用法 －『日本語話し言葉コーパス』の分析を通して－」第一回コーパス日本語学ワークショップ予稿集、pp.343-346.
(http://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/files/JCLWorkshop_no1_papers/JCLWorkshop2012_web.pdf よりダウンロード可能)

永田良太･大浜るい子（2001）「接続助詞ケドの往訪間の関係について　－発話場面に着目して－」『日本語教育』110、pp.62-71、日本語教育学会

森田良行（1980）『基礎日本語２　－意味と使い方－』、角川書店

渡辺学（2000）「逆接表現の記述と体系　ケド･ワリニ･クセニをめぐって」『現代日本語研究』７、大阪大学大学院

Maekawa, K. (2003) Corpus of Spontaneous Japanese: Its design and evaluation. In *Proceedings of ISCA and IEEE workshop on Spontaneous Speech Processing and Recognition.* 5-8. Tokyo.

Pierrehumbert, B. and M. Beckman (1988) *Japanese Tone Structure*. Cambridge, MA: MIT Press.